



郷土歴史資料館 だより

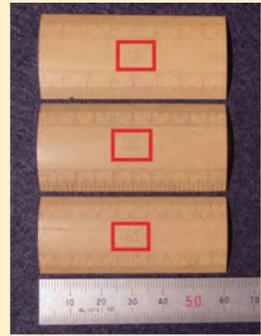


展示資料紹介 「製図用の定規」

現在開催中の「新収蔵品展 平成30年度～令和2年度」の展示資料の中から、製図用の定規を紹介します。

これらの定規は、縮尺図を作成する際に使用されたものです。各定規の中央部（赤で囲った部分）には、1/40尺、1/50尺、1/60尺と刻まれており、それぞれ1目盛り当たりの長さが異なります。「尺」は長さの単位で、1尺は約30.3cmに相当するため、例えば1/50尺の定規では、1目盛りが1尺の1/50、つまり約6mmになっています。この定規を使うと、1/50の縮尺図を正確に作成することができます。

なお、この定規は大工をされていた家に残されていたのですが、いつまで使われていたかは不明です。



▲ 製図用の定規 (一番下は比較用に置いたもの)

第3回 ふるさと講座 「金津宿の成り立ち」

現在の市役所から坂ノ下の八幡神社にかけては、江戸時代に北陸道の宿場町として栄えていました。しかし、「いつから」「どのように」発展してきたかはよく分かっていませんでした。



▲ 金津宿のジオラマ

そこで、本講座では、金津宿の始まりと発展の様子について、さまざまな資料から分かったこととお話します。

タイトル 「金津宿の成り立ち」

講師 九千房 英之(郷土歴史資料館学芸員)
とき 3月14日(日) 13時30分～14時30分
ところ 金津本陣 IKOSSA 3階 大ホール
参加費 無料
定員 30人(感染症対策のため事前申し込み)
申込み 郷土歴史資料館 ☎73-5158

郷土歴史資料館(金津本陣 IKOSSA 2階)
休館日 月曜日・第四木曜日(祝日の場合はその翌日)

開館時間 9時30分～18時(最終入館17時30分)
問合せ ☎73-5158 FAX 73-1038 ✉maibun@city.awara.lg.jp

小学生「あわらのたから」 図画展

福井県造形教育研究大会実行委員会が主催する「あわらのたから」図画展が開催され、受賞作品45点が金津本陣 IKOSSA に展示されました。この図画展は、市の魅力あるものを描き、郷土に誇りを持ってもらいたいとの思いで開催されました。実行委員会が厳正な審査を行い、応募数819点の中から市長賞や教育長賞、美術館長賞、金賞を選びました。今回は、実行委員長を務める細呂木小学校長牧井先生のインタビューと市長賞受賞作品を紹介します。

ふるさとのよさを見つけ、描く子どもたち

－開催してみて、どうでしたか？
たくさんの応募があり、大変うれしく思います。それぞれの校区に、こんなにたくさんの「たから」があることを子どもたちの絵から知りました。



▲ 市長賞を受賞した 出店くんと牧井委員長

－今後の展望や予定などがあれば教えてください。

今回は、金津創作の森美術館で、秋に開催します。さらに、年間通して作品を募集するので、春夏秋冬それぞれの季節の良さが表れる作品を楽しみにしています。また、風景だけではなく、食や生活・文化、歴史、まつりなど、多様なテーマで描いてくれることを期待しています。

－子どもたちに一言お願いします。

「あわらのたから」の絵にはうまい、へたはありません。自分たちが住んでいる地域の「たから」を見つけ、全国の人に自慢できるような絵を描いてください。

市長賞受賞作品



▲ 細呂木小学校1年 出店大雅さん



▲ 金津小学校2年 竹内伶さん



▲ 北潟小学校3年 鳥山紘さん



▲ 芦原小学校4年 野ツ俣祐也さん



▲ 本荘小学校5年 高嶋紗那さん



▲ 伊井小学校6年 坪川凜さん

男女共同参画推進市民会議の取り組み

男女共同参画推進市民会議とは、男女共同参画を推進するために活動している市民団体です。市民会議では、市内の企業を訪問して、職場での男女共同参画の状況を把握し、各企業の特徴ある取り組みを市民の皆さんに紹介しています。

今回は、株式会社エイチアンドエフを訪問し、社員の皆さんに家庭での育児や家事の分担、仕事との両立などについてもお話を伺いました！

今回の訪問企業

株式会社エイチアンドエフ

【企業紹介】

エイチアンドエフでは、自動車のドアなどの骨格部品やパネルを成形する超大型プレス機械とその周辺設備(材料の投入やパネルの搬送・積込を行う自動化装置)を製造しています。また、製品の修理、改造、点検、移設などのアフターサービスも行っています。国内支社・営業所は本社、熊坂以外に5拠点(東京、大阪、愛知、群馬、広島)と、海外には8拠点(アメリカ、イギリス、マレーシア、タイ、中国、インド、インドネシア、メキシコ)に事務所を設けています。



【企業の取り組み】

有休は、年5日間の一斉付与の設定やアニバーサリー休暇などにより、取得しやすい環境づくりを行っています。また、フレックスタイム制を導入することで、家事育児に柔軟に対応できるようにしているほか、女性のさらなる活躍を推進するため、様々なセミナーや「SDGs 取り組みチーム」への女性参加なども積極的にを行っています。



女性社員Aさん

家事は夫婦2人でしていますが、役割は決めず、気付いた人が、時間のある時に率先して行っています。育児は子どもが小さいころは夫の仕事が忙しかったため、一人で子どもをみるが多かったのですが、自分のペースでできるので大変とは思いませんでした。子どもが大きくなった現在は、夫婦2人で子どもの学校の話や話を聞くこともできています。

職場では休暇も取りやすく、女性活躍推進セミナーなどで外に出る機会も多くなりました。セミナーでは業務内容における男女間の差の現状などについて学び、一般的に評価される仕事は男性に任されることが多いため、女性は評価されづらいということを聞きました。今後は、どの企業でも男女関係なく、業務の内容に差をつけずに成長していけるようになるといいですね。



男性社員Bさん

三世同居のため、家事や子どもの保育園への送り迎えは、母親に頼むことが多いです。ノーマルデーの日は、必ず子どもの迎えをするようにしています。また、子どもの急な発熱などの場合は勤務形態や距離の関係で自分に連絡が来るため、休暇を取って病院に連れて行っています。

職場では、男性だから女性だからといって差別はしたくないです。今後は、職場での男女の平等化が少しずつ確実に進んでいくと思います。また、当社は大型機械の製造業なので男性が多い職場ですが、積極的に女性を採用するなどして、女性の比率を増やせると良いと考えています。



編集後記

今回は、委員6人で訪問させていただきました。終始和やかな雰囲気です。インタビューさせていただき、貴重なお話を聞かせてもらうことができました。お話を伺ったお二人はとても明るく、仕事も家事・育児もご夫婦ご家族で協力し合い楽しみながらされている様子が分かり、とても素晴らしいと感じました。今後は、市内の素敵な企業に訪問し、貴重なお話を聞ける機会を持てることを願っています。(男女共同参画推進市民会議委員)



輝け君の汗と涙 北信越総体 2021

走り北信越の大地もとべ北信越の大会へ



高校生の熱い夏！インターハイがやってくる！

問合せ スポーツ課 ☎73-8043

あわら市で開催されるカヌースプリント競技について、県内唯一、部活動がある金津高校カヌ一部スプリントチームにインタビューをしてきたので、ご紹介します。



キャプテン 大崎麻由さん

－どのようなチームですか？

先輩、後輩の仲が良く、メリハリのあるチームです。部員のほとんどが高校から始めているので、年齢に関係なく全員が良いライバルです。

－一部のスローガンはありますか？

常に周りの人に感謝をする気持ちをもって部活動を行っています。

－抱負を教えてください。

コロナ禍で令和2年度のインターハイが中止になり、力を出し切れずに引退してしまった先輩たちの分も背負って、悔いが残らないように力を出し切りたいです。また、練習は辛いですがあきらめなくてよかったと思える大会にしたいです。



顧問 山崎太一先生

－どのようなチームですか？

チーム全員が課題を見つけ、スプリント競技に前向きに取り組めるチームです。

－抱負を教えてください。

地元での開催で特別な思い入れのある生徒も多いので、レース本番で普段の力を出し切ってほしいと思います。



コーチ 濱野早紀さん

－どのようなチームですか？

先輩、後輩の仲もよく、よい雰囲気です。女子が多いため賑やかです。

－抱負を教えてください。

レースのスタートラインまでは、選手をしっかり送りだし、レース中は生徒が自分に勝てることを信じたいです。選手の一生懸命な姿を見せて、地元が盛り上がる大会にしたいです。